

# 残留性有機汚染物質とダイオキシン 問題の過去・現在・未来

日時:2020年1月25日(土)14:00~17:20

場所:愛媛大学農学部(松山市樽味)三浦記念館1階会議室

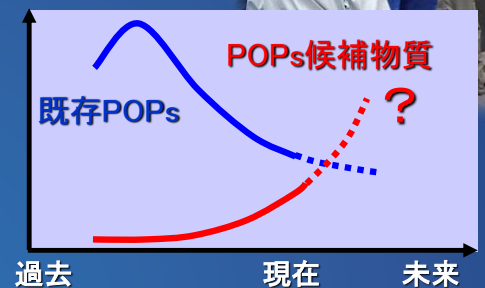
定員:最大50名 ※募集期間:1月24日(金)17時まで

参加費:無料

かつて大きな社会問題となったPCBやダイオキシン類などの残留性有機汚染物質(POPs)による環境汚染や生物影響は今どうなっているのか、最新の研究成果や測定技術、国内外の対策、今後の課題等を含め、高校生・大学生や一般の方々にもわかりやすく解説します。ご関心のある方は、是非ご参加ください。

延長しました!

汚染レベル



14:00-14:05 開催挨拶

14:05-14:45 POPsによる環境汚染:その歴史と課題

高橋 真 (愛媛大学大学院農学研究科・教授)

14:45-15:25 1500種類の汚染物質を一斉に測定する網羅分析法とその活用事例

上野 大介 (佐賀大学農学部・准教授)

15:25-15:40 -休憩-

15:40-16:20 POPs代謝能の動物種差が及ぼす蓄積特性と感受性差

水川 葉月 (愛媛大学大学院農学研究科・准教授)

16:20-17:00 es-Bankの保存試料を活用したPOPs汚染の過去復元と将来予測

国末 達也 (愛媛大学沿岸環境科学研究センター・教授)

17:00-17:20 全体討議・閉会挨拶

<参加お申込先>

愛媛大学農学部学務チーム

e-mail: agrgakum@stu.ehime-u.ac.jp FAX:(089)941-4175

1月22日(水)までに、メールまたはFAXで以下の内容を御連絡下さい。

- ① 参加者のお名前 (全員分)
- ② ご所属 (学生・生徒さんの場合は学年も)
- ③ 代表者のご連絡先 (電話番号またはメールアドレス)

